

いにしよより

令和元年10月号

発行：第二いずみの里広報委員会

※ 第二いずみの里ホームページにてカラー版がご覧になれます。“中東福祉会”で検索

作品展に向けて



五泉市の市展出品（11月1～4日、五泉市総合会館大ホール）に向けて第二いずみの里一丸となり作品作りをしています。工作クラブでは秋をテーマにした作品を、創作班では東京オリンピックスポーツピクトグラムや第二いずみの里外観の亚克力ビーズ作品を、生活班では東京オリンピック応援ソング「パプリカ」の歌詞を書き、参加国の国旗で装飾する作品をそれぞれ作成中です。芸術の秋、真っ盛り！



工作クラブ作品。
120cm×902cmの
大作です。

異動・新規職員紹介



向かって左から

小林剛事務員
芳賀慎司支援員

10月1日付で職員2名がいずみの里へ異動となりました。在任中はご利用者、ご家族の皆様にお世話になりました。



向かって左から

行田明花看護師（新規採用）
熊倉政史支援員（いずみの里より）
松澤恭代事務員（満日の里より）

10月より第二いずみの里職員になった3名です。よろしくお願ひします。

11月行事予定

選択外出

温泉、映画館
自然科学館



看護師の窓から～「フレイル」を吹きとばせ！～



加齢により衰えた状態を「フレイル」と言います。①活動量の低下と社会交流機会の減少②身体機能の低下③筋力の低下④認知機能の低下⑤易疲労性や活力低下⑥慢性疾患があり管理が必要⑦体重減少⑧低栄養⑨収入・教育歴・家族構成などの要因が合わさることで起こります。「フレイル」を重症化させないための生活習慣として①孤食よりも共食②口腔機能のケア③日常生活に運動要素を取り入れる④社会活動の参加です。これらを意識して毎日を過ごし、心身共に健やかに長生きしたいものです。